

平成23年事業報告書

自 平成 23 年 10 月 3 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

1. 事業の概況

平成 23 年 9 月、当会はお陰をもちまして創立 35 周年を迎えるとともに 9 月 20 日付をもって内閣総理大臣より「公益社団法人」の移行認定を受け、10 月 3 日に移行登記を完了しました。これも偏に会員ゴルフ場をはじめ関係の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第です。

さて、昨年 3 月 11 日に発生した東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故は、我が国の経済、社会全般に大きな影響を及ぼし、東日本エリアの多くのゴルフ場が被害を被り、全国的にゴルフ場を取り巻く経営環境も大変厳しい状況で推移しました。このような中、当会は被災地の復興支援事業を重点に据え、創立 35 周年記念事業の資金の一部を振り向けることとし、現地関係者と謀りながら復興事業への協力を推進してまいりました。

また、昨年 12 月 5 日に創立 35 周年記念シンポジウム「ゴルフ場は生きものの里山」をサントリーホールで開催し、「生物多様性保全に貢献するゴルフ場」を提唱し、環境省、国土交通省、林野庁などの関係省庁をはじめ多くの方々からの賛同とご評価をいただきました。

昨年は、国連が定めた「国際森林年」であり、世界的に森林保護・保全への取り組みが推進されるなか、当会も従来からの公共施設の緑化・先駆的な環境保全事業の着実な遂行はもとより、緑化貢献に対するゴルファーの顕彰施策の充実や、環境、健康などゴルフとゴルフ場の持つ多方面にわたる社会貢献活動の周知などにも努めました。これも偏に、全国の多くのゴルファー・ゴルフ場をはじめ、関係省庁、都道府県、国土緑化推進機構、各県緑化推進委員会、河川環境管理財団、国立公園関係団体、九州緑化促進協力会、賛助企業、ゴルフ関連団体など皆様方のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

2. 会員員増等への取組み

(1) 会員ゴルフ場の維持・拡大

厳しい事業環境が続く中、当会の理事をはじめ関係各位の積極的なご支援を得て、ゴルフ場訪問などによる入会勧奨を行うとともに、会員の維持・継続にも努めてまいりましたが、平成 23 年 10 月 3 日以降今年度末までの新規入会はありませんでした。

(2) 賛助会員・寄付金の拡大

多くの賛助会員(巻末資料 2 参照)や寄付会社等からご支援をいただいております。また、ホールインワンを達成されたゴルファー、グリーン&エコ「熱烈ゴルファー」賛同者、永年緑化貢献「エージシュート大賞」受賞者、SANYU-SHA. CLUB(大阪)などゴルファーのサークルからもご寄付をいただきました。改めてお礼申し上げます。

3. 地方緑化事業

当会の主力事業として、下記の通り学校等の社会公共施設の植樹に加え植栽樹木のメンテナンス、花壇の整備など各地域で住民に喜ばれる緑化環境の整備を行いました。

(1) 緑化協力金の配分

ア. 平成 24 年 3 月(第 70 回配分、平成 23 年 7~12 月醸金分)に地方緑化事業費として合計 36 百万円を表 1 の各団体に配分しました。

[表 1] ゴルフ場の所在区分による地方緑化事業費の配分(委託)先 等

ゴルフ場の区分	緑化協力金の配分(委託) 団体	委託事業の内容と地方緑化事業費配分額 合計 36,445 千円
①一般 ゴルフ場	都道府県緑化推進委員会等	公立の小中学校、病院、福祉施設等の社会公共施設への植樹 20,916 千円
②国立公園内 ゴルフ場	各地域の国立公園協会等	国立公園等の環境・美化緑化活動 2,464 千円
③河川敷 ゴルフ場	河川環境管理財団	協力ゴルフ場のある水系の川辺の植樹 河川環境の美化緑化及び保全に関する調査研究の助成 13,065 千円

イ. 第 1 回(昭和 52 年度)から第 70 回までの地方緑化事業費の累計金額は、6,312 百万となりました。

(2) 地方緑化事業

当会が配分した前項の緑化協力金に基づき、各都道府県緑化推進委員会、各国立公園協会、河川環境管理財団等は、新たに公園・学校・老人福祉施設・河川敷の整備などの緑化事業を行っております。

尚、個々の事業に際しては、会員ゴルフ場名を記載した標識の設置や、児童・学校長等から協力ゴルフ場へのお礼状の送付を各緑化推進委員会を通じてお願いするなど、地域社会とゴルファー・会員ゴルフ場との連帯意識の醸成に努めました。また、社会環境の変化に応じるため植樹以外にも植栽樹木のメンテナンス、花壇の造成、花の種の配布など地域で喜ばれる緑化・環境整備活動などを行っております。

4. 全国緑化事業

前項の「地方緑化事業」以外に、全国的視点に立って実施する環境緑化・環境保全事業を「全国緑化事業」と称しておりますが主な実施事業は次のとおりです。

(1) 緑化事業

ア. [松枯れ対策]

「松くい虫防除対策」として、東大千葉演習林で行う抵抗性松苗木の開発・改良の研究を助成するとともに、苗木を希望される全国の会員ゴルフ場や公共的な場所などに配布しました。

イ. [苗木など配布]

抵抗性松苗木以外を希望される全国の会員ゴルフ場や公共的な場所などに苗木、種子・球根などを配布しました。

(2)特別事業

ア. [校庭の芝生化]

普及啓発の一環として、子供たちに芝生を知ってもらうべく平成22年3月に発行した小冊子『芝生キッズくらぶハンドブック』を、昨年も引き続き学校、ゴルフ関係者などに配布、ご活用いただくなど好評を得ています。

イ. [安全対策と景観保持の樹木管理技術]

名木の倒壊などの原因となる木材腐朽菌病（キノコ）について、全国の樹木医などの2年間にわたる協力を得て、本邦初の「緑化樹木腐朽病害ハンドブック」を発刊(平成19年8月)、国指定天然記念物の樹木保護などにご活用いただくとともに、その普及啓発として現地研修会を平成18年度から毎年開催し、埼玉県上尾市(八枝神社)、茨城県城里町(コミュニティセンター城里)、福岡市(鳥飼八幡宮)、神奈川県鎌倉市(建長寺)、大阪府河内長野市(寺ヶ池公園)と5ヶ所で実施してきました。

平成23年度は新たに、全国的にゴルフ場におけるマツ枯れ、ナラ枯れ等に対するゴルフ場管理者等を対象として、(社)日本ゴルフ場事業協会との共同主催による「ゴルフ場の樹木管理セミナー」を東京国際フォーラムで開催(平成24年3月30日)し、多くのゴルフ場関係者にご参加いただきました。本セミナーは、当面5ヶ年にわたり東日本地区、西日本地区と毎年2回、ゴルフ場を会場にして開催する計画です。

【GGG創立35周年記念事業】

ウ. [東日本大震災被災地復興支援事業]

激害3県(岩手・宮城・福島)を中心に該当各県の関係者と具体的な内容を検討し、5ヶ年の事業計画を策定、実施しております。昨年は、福島県で2件の復興事業(「避難された皆さまに緑の潤いを」、「ふるさとの森 絆づくり」)に助成し、(社)福島県緑化推進委員会(現・(社)福島県森林・林業・緑化協会)から感謝状を拝受しました。

エ. [「生物多様性を保全するゴルフ場」宣言の制定と発表]

創立35周年記念シンポジウムを開催(平成23年12月5日)、基調講演、パネルディスカッション、「生物多様性を保全するゴルフ場」宣言「ゴルフ場は生きものの里山」を制定、創立記念シンポジウムにおいて日本ゴルフサミット会議17団体で共同宣言を発表しました。

オ. [ゴルフ場の生物多様性調査と管理技術の普及啓発]

ゴルフ場の生物生息状況の現地調査、世界の事例研究等により、生物多様性、生物生息環境の面からゴルフ場管理ガイドラインを作成しました。今後、「生物多様性を保全するゴルフ場」宣言に賛同するゴルフ場の指針にいただき普及をはかります。

カ. [ゴルファーの緑化貢献の顕彰]

当会の会員ゴルフ場でのプレーを通じて緑化事業に貢献していただいたゴルファーの方々をゴルフ場を通じて顕彰する制度として平成19年度からスタートした「年間最多プレー『緑化貢献大賞』」ならびに「永年緑化貢献『エージシュート大賞』」を継続し、大変ご好評をいただいております。

(3) 賛助事業

ア. [自然保護 NGO への助成]

当会の資金により設立された「公益信託自然保護ボランティアファンド」を通じて「NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク」など自然公園内の緑化・環境整備等を実施している NPO、NGO 等 26 団体への助成を行いました。昭和 61 年 10 月のファンド創設以来の支援は、延べ約 415 件、累計約 147 百万円に達しています。

イ. [環境団体への支援]

「WWF ジャパン」など環境保護団体の活動にも引き続き支援を行いました。

ウ. [環境緑化行事への協賛等]

環境省・林野庁・都道府県など関係省庁等が企画する「巨木を語ろう全国フォーラム」、「みどりの感謝祭」、「森林と市民を結ぶ全国の集い」など、各種行事に協賛しました。

5. その他の活動

(1) 事業PR等

ア. ゴルフ業界誌「ゴルフ場セミナー」「ゴルフマネジメント」やゴルフフリーマガジン「ゴーゴルフ」などでの事業活動の広報・PR を積極的に実施しました。

イ. 当会やgolfer・ゴルフ場の行っている環境貢献活動を一般golferなどへ周知する活動として、当会の主な緑化事業等を新聞・テレビ・雑誌などに取り上げていただくべく、適宜報道資料を媒体各社に提供するなどパブリシティ活動を実施しております。

ウ. ジャパンゴルフフェア会場などでパネル展示等によるPR活動を行いました。

エ. ホームページ (<http://www.ggg.or.jp/>) については、『新着情報・活動報告(プレスリリースなど)・情報公開』のページを充実したほか、『グリーン&エコ支援「熱烈golfer」募集』を継続しました。

オ. 毎年、会員ゴルフ場の長年にわたる緑化貢献に対する顕彰を環境省にお願いしておりますが、平成 23 年度は「ラフォーレ修善寺&カントリークラブ」が選ばれ『平成 23 年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰』(4 月 28 日)を受賞されました。

カ. 協力ゴルフ場に対する各県による顕彰を繰り返し要請してまいりました。一例ですが、平成 23 年 5 月に(社)千葉県緑化推進委員会から千葉カントリークラブが、平成 24 年 3 月に(公社)埼玉県緑化推進委員会から東京ゴルフ倶楽部、高麗川カントリークラブ、武蔵OGMゴルフクラブの 3 コースが、それぞれの年次総会において緑化募金協力ゴルフ場として感謝状を贈呈され、また、茨城県でも茨城ゴルフ倶楽部など 5 コースが緑化功労者の感謝状を受けています。

(2) ゴルフ界活動への参画

日本のゴルフ界全体が取り組む「震災復興支援グリーン・ティー・チャリティー」などの諸事業にも積極的に参加しています。

[資 料]

平成 23 年度各種会議の開催状況
(平成 23 年 10 月 3 日～平成 24 年 3 月 31 日)

1. 理事会・総会の開催状況

(1) 理事会

第 1 回理事会

日 時 平成 23 年 11 月 18 日 (金) 12 : 00～14 : 00

場 所 国際文化会館

出席数 出席者 11 名、監事 1 名、計 12 名
(理事総数 15 名)

議 事

1. ①平成 23 年度社団法人ゴルファーの緑化促進協力会事業報告の承認について
(期間：平成 23 年 4 月 1 日～10 月 2 日)
- ②平成 23 年度社団法人ゴルファーの緑化促進協力会決算の承認について
(期間：平成 23 年 4 月 1 日～10 月 2 日)
2. ①平成 23 年度公益社団法人ゴルフ緑化促進会事業計画の決定について
(期間：平成 23 年 10 月 3 日～平成 24 年 3 月 31 日)
- ②平成 23 年度公益社団法人ゴルフ緑化促進会収支予定の決定について
(期間：平成 23 年 10 月 3 日～平成 24 年 3 月 31 日)
3. 役員の選任について
4. 役員の報酬額について

第 2 回理事会

日 時 平成 24 年 3 月 13 日 (火) 14 : 00～15 : 30

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席者 13 名、監事 1 名、計 14 名
(理事総数 17 名)

議 事

1. 平成 23 年度事業執行状況について
2. 平成 24 年度事業計画並び収支予算について
3. その他

(2) 通常総会

日 時 平成 23 年 11 月 18 日 (金) 12 : 00～14 : 00

場 所 国際文化会館

出席数 出席者 17 名、委任状出席 83 名、計 100 名
(会員総数 145 名)

議 事 (第 1 回理事会に同じ)

2. 常任理事会の開催状況

第5回 平成23年11月18日（金）

議 事

1. 平成23年10月の月次経理について
2. 平成24年度環境大臣表彰推薦ゴルフ場について
3. 平成23年度第1回緑化委員会の開催について
4. ゴルフサミット会議（2012年「ゴルフ新年会」）について
5. その他

第6回 平成23年12月16日（金）

議 事

1. 平成23年11月の月次経理
2. 平成24年度理事会・総会・常任理事会等の日程について
3. 創立35周年記念シンポジウムの報告について
4. その他

第7回 平成24年1月25日（金）

議 事

1. 平成23年12月の月次経理
2. GGG2011年の主な出来事
3. 平成24年度会議（総会・理事会・常任理事会等）の日程について
4. 新規事業「ゴルフ場対象の樹木管理セミナー」（仮称）について
5. GGG今後の運営について
6. その他

第8回 平成24年2月17日（金）

議 事

1. 平成24年1月の月次経理
2. 今後のGGG運営について
3. 埼玉県緑化推進委員会「平成23年度募金協力優秀団体」のゴルフ場推薦
4. NGK共催「ゴルフ場対象の樹木管理セミナー」について
5. その他

第9回 平成24年3月13日（火）

議 事

1. 平成24年2月の月次経理
2. 今後のGGG運営について
3. 第70回緑化協力金の配分について
4. その他